

「バイオものづくり革命推進事業」プロジェクトに関する意見

TOPPAN ホールディング株式会社 殿

令和6年12月6日

産業構造審議会 商務流通情報分科会 バイオ小委員会
バイオものづくり革命推進ワーキンググループ

本ワーキンググループで実施した議論を踏まえ、貴社におかれては、プロジェクト推進に当たって以下の点に留意のうえ、今後のモニタリングにおいて、その対応について報告されたい。

- ・ 経営のコミットメントに関して、経営側での課題感が見えにくい。現状で行き詰まっている点と解決の方向性も示していただきたい。
- ・ ルール形成や標準化に関しては事業の海外展開の視点を入れて検討すべき。
- ・ オープン＆クローズ戦略について、特に、クローズ戦略の部分で、技術をノウハウとして秘匿化し、特許化はしないという方針を示されているケースが見られたが、社内での適切なノウハウ管理を行うことを前提としつつ、海外含む他社による知財化のリスクも勘案しながら開発を進めてほしい。
- ・ 将来の上市に向けて、どのようにしてマーケットインをしていくのか、「和牛」としてのブランド価値も踏まえて、ターゲット層や価格、販売戦略などの具体的な絵姿を描くべき。
- ・ 安全性評価とガイドラインを早急に整備して市場をつくることが重要。技術は様々保有していると思うが、協調フェーズでもあることから、事業者間の連携をとりながら進めていただきたい。

以上